

2021年8月24日

DENSO KOBELCO SARD GR Supra 延期第3戦鈴鹿、痛恨のペナルティも 次につながる走りを見せる



SUPER GT 第3戦鈴鹿レポート

2021 SUPER GT 第3戦「FUJIMAKI GROUP SUZUKA GT 300km RACE」(8/21-22) 鈴鹿サーキット(1周5.807km)

8月22日(日)、5月から延期となったSUPER GT第3戦「FUJIMAKI GROUP SUZUKA GT 300km RACE」の決勝が行われ、13番グリッドから不撓不屈に勝利を狙っていったDENSO KOBELCO SARD GR Supraは、スタート担当のハイキが、序盤FCYからのSC導入という波乱の中で17周目に#1、18周目に#19と130Rコーナーで華麗にオーバーテイクし順位を上げていき21周を終えてピットイン。交代した中山も24周目に#37を抜いて11番手で追い上げ態勢を築いていたが、ハイキがピットインの際にピットロード入口で速度オーバーの痛恨のドライブスルーペナルティ。最下位まで順位を下げてしまうも、諦めずにプッシュを続ける中山はトップペースでベストタイムを刻みながら20秒あった前とのギャップを4.5秒差にまで追い詰める快走を見せた。チェッカーまでに前を捉えることは叶わず、14位フィニッシュとなったが、苦しみながらも次につながる決勝中の走りを見せたレースとなった。

ドライバーポイントは獲得ならずランキング10位(計14点)、チームポイントは3点を獲得しランキング9位(計26点)に。次戦は、9月11日(土)・12日(日)にスポーツランドSUGOで第5戦として開催される。

■事前情報

新型コロナウイルス感染拡大の影響で5月末から8月末に延期された第3戦鈴鹿。当チームパートナーでもあるFUJIMAKI GROUP様が、ラウンドパートナーとなり、大会名称は「FUJIMAKI GROUP SUZUKA GT 300km RACE」となる。DENSO KOBELCO SARD GR Supraは、大会公式画像に描かれるなど期待も高く、チームの本拠地に近いため応援者も多く訪れる。8月21日(土)午前に公式練習、午後にはクックアウト方式(Q1、Q2)の公式予選で、22日(日)決勝は14時30分スタート、300km(52周:約2時間)で争われ、ドライバー交代を伴うピットストップは1回が義務付け。サクセスウェイトは、現獲得ポイントの倍となる28kgを搭載する。鈴鹿での重量増によるタイムの落ち込みは、28kgだと約0.5~0.6秒。



この延期第3戦も引き続き様々な感染防止対策や人数制限を講じながらの開催。真夏の鈴鹿で暑く激しく厳しい戦いが予想される。DENSO KOBELCO SARD GR Supraは、開幕から連続ポイントを獲得しているが、シーズン前半の締めくくりに4戦目となる鈴鹿では、後半戦に向けてランキング上位勢に追いつくためにも大量得点となるポディウムフィニッシュは必須。脇阪寿一監督のもとチーム一丸となって強き意志を持ち、ランキング上位を目指して、不撓不屈に勝利を狙っていった。

■公式練習走行

21日（土）9時から開始された公式練習走行は、雨が降ったり止んだりの不安定な天候。気温26度/路面温度28度のコンディションの中、90分間の混走セッションが開始された。前日の搬入日にセットアップを念入りに検証して夜遅くまで変更作業をして臨んだ走り出し。ヘイキがタイヤ評価のため、まずソフト側ドライタイヤを装着してコースイン。コース内が混雑する中で、7周目に1分49秒347のその時点で8番手タイムをマーク。10周目からはハード側タイヤを装着。FCYキャリブレーションが実施される中で15周目に1分47秒台をマークしようかとセクターベストを更新中に赤旗中断の憂き目に。タイヤの評価自体はできていたので、赤旗再開後は中山がヘイキが装着したソフト側タイヤのリポート評価を行った。この中山のアウトイング中には車両のマイナーな不具合が発生してしまい、応急処置をしながらフィーリングの良かったソフト側タイヤでロングランを実施した。混雑する中でペースを保つのは難しい状況ではあったが、その中でも1分50秒台のペースで走れそうな様子で、混走セッションは最初にマークした1分49秒347のタイムで15番手となったが、まずまずな手応えのある出だしとなった。



10分間のGT500単独セッションでは、気温25度/路面温度28度とあまり変わらず。中山が予選で使用しない見込みのハード側タイヤでアタックシミュレーションを実施。4周目に1分46秒636の8番手タイムをマーク。公式練習走行ではトータル34周を走行。その後のFCYテスト走行ではヘイキがユーズドのソフト側タイヤを装着して、ガソリンを積んだ重い状態でのフィーリングを10周ほど走行して確認。午後の予選へ向けては、ドライバーのコメントを丁寧に聞きながらデータの解析やコンディション変化への合わせ込みなど速さを求め、インターバルでは走行解析を中心に行った。

■公式予選

■Q1：中山がカットライン各車僅差となったQ1で13位

21日（土）Q1開始時点で、気温27度/路面温度31度と思ような上昇が見られずに、湿度が高い蒸し暑さのある特異なコンディションとなった。残り8分30秒ほどでコースインしたQ1アタッカーの中山。Q2進出で前方グリッドを獲得すべく、ソフト側タイヤを装着してコースイン。タイヤのウォームアップも良く狙った4周目にアタックを開始。セクター1でまずは29秒台に。セクター2では自己ベストの17秒563で難しいセクションをクリア。続く長いセクター3でも自己ベストとなる39秒台を叩き出す。更にセクター4でも19秒台へ。チェッカー前にストレートを通り過ぎ、ギリギリもう1周アタックへ。セクター1で0.15秒ほど削ってくる勢いの中山。だがセクター2、3ではピークグリップが過ぎてしまい、そのままタイヤ温存のためアタックを止めピットへ戻った。Q2進出カットライン以下は各車タイムが非常に拮抗するひと塊の中には居たが、予選は13位と不本意で悔しい結果となった。



Q2進出カットライン以下は各車タイムが非常に拮抗するひと塊の中には居たが、予選は13位と不本意で悔しい結果となった。

■決勝

■ウォームアップ走行

22日（日）13時10分から開始されたスタート前20分間のウォームアップ走行は、気温30度/路面温度41度と暑く蒸したコンディション。時折、通り雨も来る状況の中で、まずは中山がハード側タイヤを装着してアウトインのベディング。続いてスタート担当のヘイキが、走り込んだユーズドソフト側タイヤを装着してロングランを実施して重量が重い状態での決勝セットを確認。ウォームアップは、1分52秒～53秒台のペースで9周を走行。1分52秒902の12番手タイムとなった。



■決勝レース

第1ステイント：ヘイキがステイント終盤にプッシュしポジションアップ

22日（日）夏の強い日差しが照りつけた中、14時30分決勝スタート時点は、気温31度/路面温度43度と上昇。快晴ながらも、小さな雨雲もレーダーにあり、いつ雨が降るかもしれない恐れもある中で、スタート担当のヘイキが13番グリッドからの追い上げを狙っていた。序盤にクラッシュ炎上車両があり、フルコースイエロー（FCY）からのセーフティカー（SC）導入という波乱の中で、タイヤを温存していたヘイキはステイント終盤の17周目に1号車、18周目に19号車を130Rコーナーで華麗にオーバーテイクし、2つ順位を上げていく。前が開けると、ここがチャンスとトップペースでプッシュしながら不撓不屈の闘志で追い上げを見せるヘイキ。ピットインのタイミングを脇阪監督が他車の動きを見ながら図り、21周を終えてヘイキをピットに呼び戻した。



第2ステイント：中山がトップペースで挽回目指し快走を見せる

33秒台の素早いピット作業で戦列に送り出すと、交代した中山も24周目に37号車を抜いて11番手に順位を上げて、追い上げ態勢を築いていた。しかし、ヘイキがピットインの際にピットロード入口で+3.6km/hの速度オーバーの判定で痛恨のドライブスルーペナルティ。このペナルティで35秒ほどロスしてしまい、追撃態勢を固めて走行していた中山は最下位となる14位まで順位を下げてしまう。だがペナルティを受けた後に再び戦列に戻った中山は、諦めずにプッシュを続けトップペースで41周目には1分51秒503のベストタイムを刻みながら、20秒あった前の19号車とのギャップを4.5秒差にまで追い詰める不屈の走りを見せた。チェッカーまでに前を捉えることは叶わず、14位フィニッシュとなったが、苦しみながらも次につながる決勝中の走りを見せたレースとなった。



ドライバーポイントは獲得ならずランキング10位（計14点）、チームポイントは3点を獲得しランキング9位（計26点）に。次戦は、9月11日（土）・12日（日）にスポーツランドSUGOで第5戦として開催される。



■ハイキ・コバライネン

「クルマはみんなの努力とカイゼンのおかげでフィーリングが良くなっていただけに自分のミスでペナルティを受けてしまい、非常に申し訳ない。それでもユウイチサンは諦めずに最後までプッシュして追いつくまで走ってくれて感謝の気持ちでいっぱい。リザルトは残らず、ポイントも獲得できない非常に悔しいレースになってしまったけれども、非常に有益な良い走行データが得られて、次に活かせるレースであったと思う。シーズンもまだ半分も残っているので、次戦のSUGOに向けて気持ちを切り替えて進んでいくよ。そして、今回の借りを直ぐに結果で返すべく努力を続けていく。だから期待をして楽しみにしていて欲しい」



■中山 雄一

「搬入日にも大幅なセット変更のお願いをして夜遅くまで頑張ってもらったおかげでクルマのフィーリングはかなり改善していました。予選からもセットアップが良い方向に進んで、暑くなった決勝でのペースも良かったものの、またも結果は残すことはできませんでした。しかし、今回行ったセットアップのトライは、シーズン後半に向けて、かなりポジティブなデータを得ることが出来ました。ここから巻き返します。次のSUGOはサクセスウェイトが軽いので攻めに攻めて行きます。引き続き熱い御声援をよろしくお願い申し上げます」



■監督 脇阪 寿一

「予選も決勝もリザルトの順位だけを見れば不甲斐ない結果でしたが、前回のレースから我々は着実にレベルアップをしています。走る前にも関わらず、念入りにセットアップを見直して金曜日夜に大きくセット変更。予選13位の順位でしたがフィーリングは悪くなく、TRDほかの皆様の御協力ですべて改善してきているおかげで僅差の予選で塊の中には居ることができたことを感謝申し上げます。決勝でもハイキのペナルティはありましたが、2人のドライバーの走りはペース良く追いついて走っていました。今は仲間を信じてエネルギーを蓄える時間と考えます。冷静に分析して着実に前に進みます。次戦のSUGOも引き続き温かいご声援をよろしくお願い申し上げます！」

■Qualifying Result

Pos.	No.	Car	Driver	Time	WH
1	64	Modulo NSX-GT	伊沢 拓也／大津 弘樹	1'45.128	2
2	16	Red Bull MOTUL MUGEN NSX-GT	笹原 右京／大湯 都史樹	1'45.349	16
3	23	MOTUL AUTECH GT-R	松田 次生／R.クインタレッツィ	1'45.710	4
13	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	H.コバライネン／中山 雄一	*1'46.377	28

天候：曇り、コース：ドライ、Timeの*印はQ1ベスト

■Race Result

Pos.	No.	Car	Driver	Time/Diff	Laps
1	23	MOTUL AUTECH GT-R	松田 次生／R.クインタレッツィ	1:50'23.702	52
2	3	CRAFTSPORTS MOTUL GT-R	平手 晃平／千代 勝正	+11.362	52
3	24	リアライズコーポレーション ADVAN GT-R	高星 明誠／佐々木 大樹	+20.127	52
14	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	H.コバライネン／中山 雄一	+1'06.541	52

天候：晴れ、コース：ドライ、5.807km×52Laps

Drivers Ranking

Pos.	No.	Driver	Total
1	1	山本	40
2	1	牧野	37
3	14	大嶋/山下	35
10	39	コバライネン/中山	14

Point standings after Rd.4

Team Ranking

Pos.	No.	Team	Total
1	1	TEAM KUNIMITSU	51
2	14	TGR TEAM ENEOS ROOKIE	46
3	36	TGR TEAM au TOM'S	42
9	39	TGR TEAM SARD	26

Point standings after Rd.4

Partners

TOYOTA

Owltech

TOYOTA
FINANCIAL SERVICES

NEW
Co.,Ltd

hp

Mechanix WEAR

Kobelco Steelers
KOBELCO STEEL RUGBY CLUB

GR TOYOTA
GAZOO
Racing

TENNECO

豊田通商

小松開発工業

salomon
THE SHIRT

**MAKE
WINNER**



DENSO

豊田自動織機

FUJIMAKI
GROUP

Jms

SUUNTO

GruppeM
Racing Inc.

KOBELCO

JTEKT

INOS

中京化成工業

ATOMIC

UNIMAT LIFE

Racing Development
TRD

豊田合成

HAYASHI
TELEMPU

Mizuno

KARL STORZ NDTec

admic

BRIDGESTONE

進和

ADVIOS

BBS

ALTAIR

MOTUL

情報参照先

- サード公式サイト : <http://www.sard.co.jp>
- SARD Facebook : <https://www.facebook.com/SARD.Corporation>
- SARD Twitter : https://twitter.com/SARD_Racing
- SARD Instagram : https://www.instagram.com/team_sard/
- SARD YouTube : <https://www.youtube.com/channel/UCb5NIgwvcB7MtooRFaF5FVA>
- SUPER GT : <http://supergt.net/jp/>

■ 本リリースに関するお問い合わせ先：チーム広報担当：宮本 e-mail: media@sard.co.jp

SARD

株式会社 サード

〒473-0914 愛知県豊田市若林東町上外根50
TEL. 0565-53-1166 FAX. 0565-52-5482

www.sard.co.jp